

放課後児童クラブ (学童保育)

日本共産党などが求めてきた

保育料の減免が実現しました!

保護者の負担が軽くなります

日本共産党は、共働き家庭の子どもなどが通う放課後児童クラブの保育料減免を大分県や別府市に求めてきました。昨年度大分県に減免制度ができ、今年度別府市でも実現しました。

保護者の経済的負担を軽くしようと、大分市や豊後高田市で実施している制度を別府市でもと求めてきたものです。

児童クラブの連絡会のみなさんや、生活と健康を守る会も要望してきました。保育料は各クラブごとに異なりますが、月額6500円が上限(8月は倍額)。下の表のように県と市からの補助が受けられるようになります。別府市役所子育て支援課に申請が必要です。

別府初の学童保育実現に努力

日本共産党は、昭和54年に学童保育を作ろうと白石・本田市議(当時)が公約し、実現に努力。33年前に別府初の学童保育が実現。その後も、猿渡(えんど)久子前市議ら日本共産党は、市議会などで放課後児童クラブの増、環境や待遇の改善を求め、また児童館や子育て支援センターなど子育て支援充実にがんばってきました。

現在では、多くのみなさんの努力で、東山以外の全校区13校区に25クラブの放課後児童クラブができました。

保育料への補助

対象世帯	保育料への補助
生活保護受給世帯	月4000円補助
・児童扶養手当受給世帯 ・就学援助受給世帯 ・市町村民非課税世帯	月2000円補助

今後ともがんばります

えんど久子前市議・平野ふみかつ市議・竹内よしひろ市議ら日本共産党は今後も、放課後児童クラブの待機児童解消や環境改善、支援員の待遇改善、保護者負担をさらに軽くなどにがんばります。さらに、子どもの医療費中学校卒業までの通院無料化など、子育て支援の充実にもがんばります。力をあわせて実現しましょう。みなさんの率直なご意見ご要望をお寄せください。



日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31
日本共産党北部地区委員会
発行責任者 えんど久子
Tel.0977-22-6576

No. 7
2017.4.19.

児童クラブの利用料減免を別府市でも

大分県に減免制度が実現！

共働き家庭の子ども達が放課後を過ごす放課後児童クラブ（学童保育）。日本共産党は、これまでも市議会や県交渉などで、利用料減免・補助金の増額・職員の待遇改善など、児童クラブの充実を求めてきました。児童クラブへの補助金は昨年度増額されました。低所得世帯の児童クラブ

の利用料を減免するための制度が、今年度より大分県で実現しました。この減免は、大分市や豊後高田市・宇佐市・中津市などで実施されていますが、別府市ではまだ実施されていません。大分県と市町村がそれぞれ2分の1を負担します。別府市でも実現できるように力を合わせましょう。

学校の相談体制など充実

日本共産党は、教職員の定数拡大など教育の充実についても要望。10月26日の交渉で「29年度の採用予定数は昨年度より31名増やし332名」と回答。また、会議や研修が多すぎて忙しい先生達の負担になっているため減らすよう要望し、昨年度は22年度比で16.7%減で、さらに努力する旨の回答でした。

スクールソーシャルワーカーは今年度から配置を始めて必要に応じて医療や福祉の関係機関につなげるようにしたこと、スクールカウンセラーを小学校66校、中学校全公立125校、高校26校に配置して相談体制の充実に努めていること、など回答がありました。要望が少しずつ実っています。今後ともがんばります。

生活と健康を守る会

大分県と交渉

11月18日「生活と健康を守る会大分県連合会」が大分県と、子育て支援や県営住宅、後期高齢者医療、生活保護など県民要求の実現めざし交渉しました。

堤栄三県議（大分市）や猿渡（えんど）久子県議予定候補（前別府市議）、県連会長の福岡健治大分市議なども参加し交渉に臨みました。

えんど久子は「就学援助が別府では中学生の24%に上る。子どもの貧困対策は重要だ」と、就学援助や子ども医療費助成の充実、災害への県の支援策などを強く求めました。会員さん達も生の声で実情や思いを訴えました。

